

クイックガイド



安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。

詳細は
WEB取説を
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



安全上の注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。



この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

!警告 (製品に係る安全事項)

禁止	エンジンが熱いうちは、給油しないでください。	強制	未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下で作業してください。
	燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。		成年者でも、操作の仕方がよく分からぬ場合は、独自の使用をしないでください。
	運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。		運転中は、排気ガスに十分注意してください。
	換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。		燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
	エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触るとやけどすることがありますので注意してください。		燃料をこぼさないように注意してください。
	改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。		燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
	ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよく理解したうえでご使用ください。		燃料キャップは確実に閉めてください。
	正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。		必ず両手でしっかり本体を保持してください。
			エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

⚠ 注意 (製品に係る安全事項)

 禁止	本機はコンクリート、アスファルト、石材を切断することを目的とした機械です。用途以外には使用しないでください。	 強制	給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
 強制	燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。		部品交換は、純正部品を使用してください。 本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。 定期点検整備を行ってください。

⚠ 警告 (作業に係る安全事項)

 禁止	身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。 動作中に回転部分に顔や手足を近付けないでください。 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。 はしごや脚立などの不安定な場所、姿勢で使用しないでください。 急傾斜地では使用しないでください。 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。 エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。	 強制	長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。 適切な間隔で休憩をとってください。 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。 キックバックに注意してください。 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜いてください。少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。
 強制	運転中は、排気ガスに十分注意してください。 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスク、すねあてなどの作業に適した服装を着用してください。		この製品から発生する電磁波が、ペースメーカーなどの植込み型医療機器に影響を及ぼす可能性があります。植込み型医療機器をご使用の方は、使用前に必ず医師または医療機器の製造元にご相談ください。 指にレイノー現象（指に不快感、赤み、腫れ、白くなる、感覚がなくなる）等の症状がある人は、本機を使用する前に医師に相談してください。

⚠ 注意 (作業に係る安全事項)

 禁止	機械の可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。	 強制	毎回作業前に各部のネジ等の締付け具合を点検してください。振動でネジ等が緩み、思わぬ事故の原因になります。 常に足場に注意し、本機のバランスを保てる無理のない安定した姿勢で作業を行ってください。 万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。 本機を長時間使用しないときは、取扱説明書にしたがって保管してください。
---	--	--	---

⚠ 注意

- 弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- 燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れないでください。
- 燃料タンクに4ストローク用オイルを入れないでください。



主要諸元

モデル名	HG-GT7208S
エンジン馬力	約 5.0HP
型式	2ストロークエンジン
排気量	74cm ³
パワー	3.5kW
3軸合成値	Max 9.822m/s ² K=1.5m/s ²
騒音レベル	116dB
燃料 / タンク容量	混合燃料 (25:1) / 0.95L
駆動方式	手押し式
始動方式	リコイルスターター
ブレード直径	350mm
ブレード軸径	25.4mm
ブレード回転速度	最高速度: 9500min ⁻¹ アイドリング時: 3000min ⁻¹
最大切削深さ	120mm
ブレード冷却方法	乾式切削または水冷式
点火プラグ	BPMR7A(NGK)
重量	10.1kg
本体サイズ (幅×奥行×高さ)	210 × 650 × 450mm

◎弊社は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ご理解・ご了承ください。

振動障害の防止

● 1日の使用時間について

1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

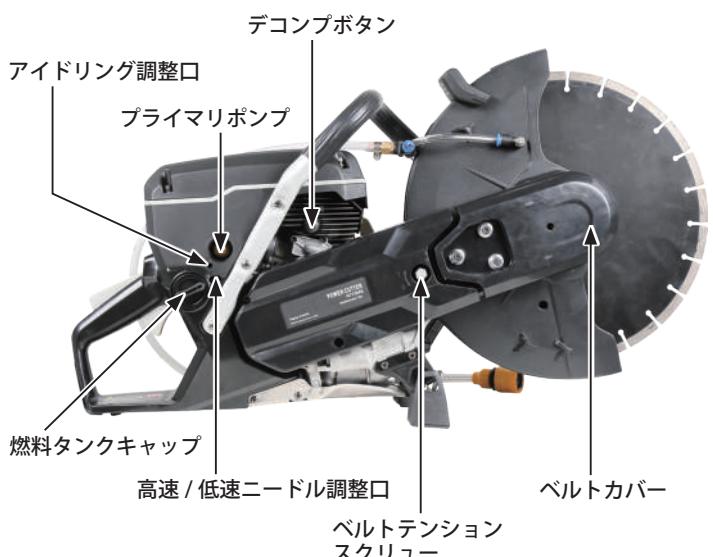
10m/s ² より小さい場合	
1回の連続作業時間	10分以内
1日の作業時間	2時間以内

● 製造時の振動レベル維持のため

- 定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- 異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

- ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
- 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
- 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

⚠️警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。



★サービス品です。予告なく終了する場合があります。ご了承ください。

※1 外径 25.4mm/ 内径 22.0mm の調整リングです。内径 22.0mm 対応のハンドカッターのブレード取付補助用です。

※製造時期により仕様変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

■ご用意いただくもの

- 無鉛レギュラーガソリン
- 2ストローク用オイル JASO FB または FC、FD
- 漏斗 (じょうご)

■他社の使用可能ブレードについて

他社のブレードを使用する場合は、以下のサイズで対応しております。

外径 14 インチ 内径 20mm/25.4mm

組立て

⚠️注意

- 説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- 作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

冷却水ホースの取付け

- 1 本体のホース取付口に冷却水ホースを挿込みます。



- 2 冷却水ホースの口を時計回りに回し、取付けます。



ブレードの取付け

本体にブレードを取付けます。

⚠️警告

安全のため、必ず手袋をして、ブレードを取付けてください。

- 1 本体に仮留めしているボルトを付属のスパナで取外し、調整カラー、アウターフランジ、ワッシャを取り外します。



- 2 ブレードの穴に付属の調整カラーを取付けます。ブレードの穴に取付ける調整カラーの向きは、「25.4」と刻印されている方を穴に取付けます。



3 ブレードの回転方向を確認して、シャフトに挿込みます。シャフトにブレードの中心穴が確実にセットされていることを確認します。

ブレードの回転方向は、本体のブレードカバーを左向きにし、セットした場合にブレードの矢印が下に向くようにセットしてください。



4 アウターフランジの穴をシャフトにしっかりとはめてからワッシャを取付け、ボルトを手で仮留めします。

⚠ 注意

アウターフランジは、しっかりとシャフトの形状に合わせてはめてください。緩みの原因になります。



5 左側の穴から付属の六角レンチ等細長いものを挿して、ブレードを固定したまま、右側から付属のスパナでボルトを時計回りにゆっくりと締付けます。



⚠ 注意

トルクレンチを使用する場合の締付けトルクは $25\text{N}\cdot\text{m}$ です。

6 ブレード部分を手で回し、振れ、緩みがないか確認します。

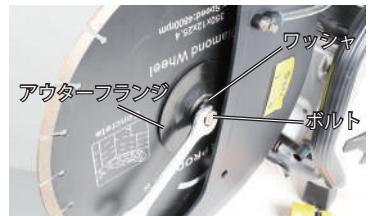


ブレードの取外し

⚠ 警告

安全のため、必ず手袋をして、ブレードを取外してください。

1 本体に仮留めしているボルトを付属のスパナで取外し、アウターフランジ、ワッシャを取り外します。



2 手袋をした状態で、ブレードとインナーフランジの間に手を入れて、ブレードを押し出すよう取外します。



運転前の点検

⚠ 警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・混合燃料は、一度に使い切る量だけを作ってください。

⚠ 注意

- ・燃料キャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに2ストローク用オイルだけを入れないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイルを入れないでください。



運転前の点検

混合燃料25:1 の作り方

市販の 25:1 ~ 50:1 というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。
エンジン焼き付きの原因になります。

★必ず指定のオイルを指定された割合で混合してください。

- 1 無鉛レギュラーガソリン
2ストローク用オイル JASO FB、FC または FD
漏斗(じょうご)
混合タンク(付属)
を準備します。
- 2 付属の混合タンクでは、無鉛レギュラーガソリン 25 に対し 2ストローク用オイル 1 の割合で 1000ml の混合燃料が作れます。
- 3 混合タンクに無鉛レギュラーガソリンを規定量①まで入れます。

- 4 2ストローク用オイルを②まで続けて入れます。



	ガソリン	オイル	ガソリン	オイル
25:1	100ml	4ml	600ml	24ml
ガソリン	200ml	8ml	700ml	28ml
オイル割合	300ml	12ml	800ml	32ml
早見表	400ml	16ml	900ml	36ml
	500ml	20ml	1000ml	40ml

- 5 混合タンクのキャップをしっかりと閉め、混合タンクを振り、カクハンドします。

運転前の点検

燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補給します。

- 1 混合燃料(25:1)を準備します。(WEB 取説の運転前の点検「混合燃料 25:1 の作り方」参照)
- 2 本体を平坦で安定した場所に置きます。



- 3 燃料タンクキャップを開けます。



- 4 混合燃料(25:1)を、少しづつこぼさないよう市販のジョッキや漏斗(じょうご)等を使い給油します。

- 5 給油が終わったら燃料タンクキャップをしっかりと閉めます。閉めがあまいと漏れの原因となります。

運転操作の仕方

警告



- ・振動障害の予防策として長時間の連続使用はしないでください。
- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。やけどの危険がありますので高温部に触れないでください。



- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

出荷時には燃料は入っていません。給油後に操作をしてください。

■エンジンが冷えている時のかけ方

- 1 エンジンスイッチが左側(一側)にあることを確認します。



- 2 チョークレバーを引きます。



3 シリンダー内の圧力を下げるためにデコンプボタンを押します。エンジンが起動すると自動的にコンプボタンは戻ります。



4 プライマリーポンプを繰返し、燃料を引き出します。(5回前後)



5 左手でフロントハンドルを握り、右足で後ろの下部分を踏み、右手でリコイルスターターロープを引きます。

※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ50cm引いてください。(ロープは一杯に引ききらないでください。)引きが少ないとエンジンはかかりません。



6 初爆…「ブルンッ」というエンジンがかかりそうな音が一回だけ起こるまで、最大5回繰り返します。
エンジンがかかります。

⚠ 注意

- ・ロープを最後まで引き切らないでください。
- ・引いたリコイルスターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

7 チョークレバーを押した状態に戻します。



8 エンジンが始動したら、2~3分程度、暖気運転をします。
ブレードが回転していないアイドル状態となります。

9 作業をする場合は、セーフティボタンを押しながら、アクセルレバーを握ります。

ブレードが回転します。



10 作業をする場合は、WEB取説の作業の仕方「切断作業」に進みます。

リコイルの引き方ポイント

※写真は、別機種



①②良い例：片手でグリップをしっかりと押さえ、真っ直ぐ引いている。

③悪い例：穴に対してロープを真っ直ぐ引かずに斜めに引くと、抵抗になりエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

■エンジンが温まっている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに当たります。

1 エンジンスイッチを左側(I側)にあることを確認します。



2 チョークレバーが押した状態にします。



3 シリンダー内の圧力を下げるためにデコンプボタンを押します。エンジンが起動すると自動的にコンプボタンは戻ります。



4 左手でフロントハンドルを握り、右足で後ろの下部分を踏み、右手でリコイルスターターロープを引きます。

※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ35cm引いてください。(ロープは一杯に引ききらないでください。)引きが少ないとエンジンはかかりません。



5 エンジンが始動したら、2～3分程度、暖気運転をします。ブレードが回転していないアイドル状態となります。

6 作業をする場合は、セーフティボタンを押しながら、アクセルレバーを握ります。ブレードが回転します。



7 作業をする場合は、WEB取説の作業の仕方「切断作業」に進みます。

エンジンがかからない時

下記をご確認ください。

- 燃料がキャブレターに行き渡っていない。プライマリーポンプに燃料が流れているか確認します。(WEB取説の運転操作の仕方「エンジンのかけ方」参照)
- チョークレバーを引いていない。(WEB取説の運転操作の仕方「エンジンのかけ方」参照)
- エアフィルタが汚れている。点検・整備の仕方「エアクリーナーの点検・清掃・交換」
- リコイルの引き方が正しくない。(WEB取説の運転操作の仕方「エンジンのかけ方」参照)
- 燃料が行き過ぎて、点火プラグを濡らしてしまっている可能性があります。(点検・整備の仕方「点火プラグの点検・清掃」)

エンジンの止め方

1 安定した平な地面に本体を置いて、セーフティボタンとアクセルレバーから手を放します。

ブレードの回転が徐々に止まります。

2 エンジンスイッチを右側(○側)にするとエンジンが停止します。



ポイント

エンジン停止直後の再始動には、エンジンスイッチを左側にして、プライマリーポンプを押さずにチョークレバーを押した状態で、リコイルスタータロープを引いてください。

注意

エンジン停止後しばらくは、エンジン、マフラー等の高温部に触らないでください。やけどの恐れがあります。

※詳細はWEB取説をご覧ください。

保証内容について

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点では保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6)弊社が認めていない改造をされたもの
- (7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8)注意を怠った結果に起きたもの
- (9)薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11)機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13)使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ペアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピング等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリ、点火プラグ等)
- (14)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺い、お手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
 - ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
 - ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
 - ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
 - ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 - ・無在庫販売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、販売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。
- また発覚次第販売者への措置を取させていただきます。

■アフターサービスについて■

- 1.販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限られております。
- 2.生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- 3.保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
- 4.修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
- 5.修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。